

再 発 見

子どもフェスタ

1st ステージ

鶴田町子ども未来新聞コンクール・写真コンテスト2007は、財団法人自治総合センターで行っている宝くじの普及広報事業費を活用して開催されました。



▲チームアップルジュニアは仲よし6人組で結成。最初はちょっとしたことでけんかもあったけど、みんなで協力して大賞をとれて嬉しいと6人は口々に喜びの声を聞かせてくれました。

鶴田町子ども未来新聞コンクール

大賞

●新聞名
●チーム名

未来の鶴田をのぞいてみよう!

アップルジュニア

柴田安紀・寛張亜美・出町綾香・駒井滯・田村絵里香
(鶴小6年)、柴田有美(鶴小5年)

鶴田町子ども写真コンテスト

テーマ朝ごはん 大賞

テーマ自由 大賞

●タイトル

おにぎりをたべておおきくなるぞ

●撮影者

関彩乃(鶴小1年)

●タイトル

いなほむすめ

●撮影者

澁谷滉紀(富士見小4年)





宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
役立てられています。

—ふるさと

2007 鶴田町



▲ゲーム大会の司会進行を務めたジュニアリーダーズクラブ「HIZURU」のメンバー。

十一月四日(日)国際交流会館で、鶴田町子ども会育成連絡協議会主催の「2007鶴田町子どもフェスタ」が開催され、約二百人の子どもたちが集まり、サケつかみ取り大会や大ゲーム大会などのイベントを楽しみました。

賞状とメダル、副賞として図書カードが贈呈されました。未来新聞コンクールには、三十三チーム(百二十六人)の応募があり、子どもならではののおもしろい発想で未来の鶴田町が描かれていました。



▲くじ引きの出店は子どもたちの一番人気。

▼各子ども会では、おでんや焼きそばなどの出店をオープン。



はじめに、広報つるた八月号で募集した「鶴田町子ども未来新聞コンクール・写真コンテスト2007」の表彰式が行われ、入賞したチームと個人に、中野町長から

はじめに、広報つるた八月号で募集した「鶴田町子ども未来新聞コンクール・写真コンテスト2007」の表彰式が行われ、入賞したチームと個人に、中野町長から

また、写真コンテストには、テーマ朝ごはんに二十一人、テーマ自由に四十九人の応募があり、かわいらしく、ほのぼのとした写真がたくさん寄せられました。



▲サケつかみ取り大会では、大戸瀬漁協から体長約80cmの白サケ80匹を運び、役場前広場に仮設したプールに放流。必死に逃げるサケを、ずぶぬれになりながら追いかける元気な子どもたちの姿が見られました。



▲3人1組になるゲーム「檻の中のゴリラ」



▲シンセサイザーの効果音が迫力の昔話